

令和6年度島根県学力調査結果

(益田市概要)

令和7年2月

益田市教育委員会

I 調査の実施について

1 目的

学習指導要領における各教科の目標や内容に照らした学習の状況及び学習や生活に関する意識や実態を客観的に把握することを通して、益田市小中学校における学習指導上の課題の改善状況を明らかにし、今後の教育施策の充実及び学校における指導の一層の改善に資する。

2 調査実施日

令和6年12月3日（火）

3 実施校数・学年・教科等・人数

校種	実施校数	学年	教科に関する調査(人)			生活・学習に関する意識調査(人)
			国語	算数 数学	英語	
小学校	15校	5年	330	330		338
		6年	354	356		362
中学校	9校	1年	355	351	354	358
		2年	330	330	330	335

II 用語

- 「正答率」 … 各学年・教科において、児童生徒個人が正答した問題の割合(%)を島根県または益田市単位で平均した値
- 「領域」 … 各教科の学習内容を系統的に示したもの。
例えば、算数では「数と計算」「図形」など。

III 公表について

1 公表の内容

教科及び生活習慣や学習意識等に関する調査結果について、益田市全体の結果

2 公表結果に関する留意事項

- ◇本調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力や生活意識等の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎないこと。
- ◇本調査における正答率1ポイントの差は、正答数に換算すると0.13問～0.25問の差に過ぎないこと。したがって、数値の細かな差のみに着目するのではなく、全体の傾向を大きく捉えたり、無解答率や誤答等も含めて、成果と課題を丁寧に捉えたりすることが必要である。

Ⅳ 結果の概要

1 教科に関する調査

(1) 各教科の正答率

益田市、島根県の数値の単位：％(小数第1位を四捨五入)
島根県と益田市の比較の単位：ポイント(小数第1位を四捨五入)

○ 益田市の平均正答率が島根県の平均正答率よりも3ポイント以上 上回る
▽ 益田市の平均正答率が島根県の平均正答率よりも3ポイント以上 下回る

小学校 国語

学年	項 目	R6			
		益田市	島根県	比較 ポイント	
小5	教科総合	63	65		-2
	領域	言葉の特徴や使い方に関する事項	66	69	▽ -3
		情報の扱い方に関する事項	50	56	▽ -6
		我が国の言語文化に関する事項	58	58	0
		話すこと・聞くこと	73	73	0
		書くこと	50	53	▽ -3
		読むこと	62	63	-1
小6	教科総合	61	63		-2
	領域	言葉の特徴や使い方に関する事項	57	59	-2
		情報の扱い方に関する事項	52	58	▽ -6
		我が国の言語文化に関する事項	39	35	○ 4
		話すこと・聞くこと	84	86	-2
		書くこと	56	56	0
		読むこと	65	67	-2

中学校 国語

学年	項 目	R6			
		益田市	島根県	比較 ポイント	
中1	教科総合	54	59	▽	-5
	領域	言葉の特徴や使い方に関する事項	62	68	▽ -6
		情報の扱い方に関する事項	27	33	▽ -6
		我が国の言語文化に関する事項	75	76	-1
		話すこと・聞くこと	51	57	▽ -6
		書くこと	47	50	▽ -3
		読むこと	47	53	▽ -6
中2	教科総合	55	57		-2
	領域	言葉の特徴や使い方に関する事項	67	72	▽ -5
		情報の扱い方に関する事項	21	21	0
		我が国の言語文化に関する事項	40	40	0
		話すこと・聞くこと	62	64	-2
		書くこと	50	48	2
		読むこと	48	49	-1

小学校 算数

学年	項 目	R6			
		益田市	島根県	県比較 ポイント	
小5	教科総合	52	56	▽	-4
	領域	数と計算	52	57	▽ -5
		図形	64	65	-1
		変化と関係	36	38	-2
		データの活用	43	44	-1
	教科総合	64	64		0
小6	領域	数と計算	69	67	2
		図形	63	64	-1
		変化と関係	48	47	1
		データの活用	63	67	▽ -4

中学校 数学

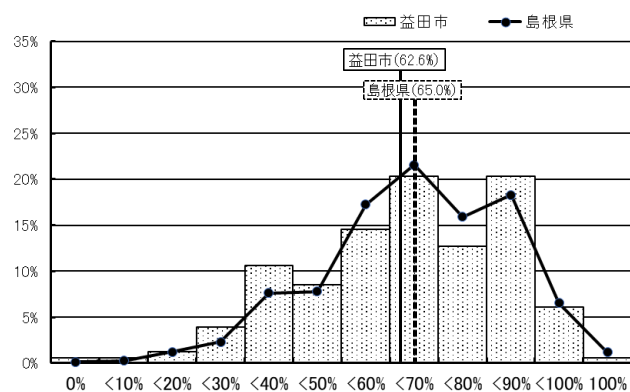
学年	項 目	R6			
		益田市	島根県	県比較 ポイント	
中1	教科総合	47	52	▽	-5
	領域	数と式	49	55	▽ -6
		図形	61	67	▽ -6
		関数	40	43	-3
中2	教科総合	44	49	▽	-5
	領域	数と式	38	45	▽ -7
		図形	64	62	2
		関数	42	47	▽ -5

中学校 英語

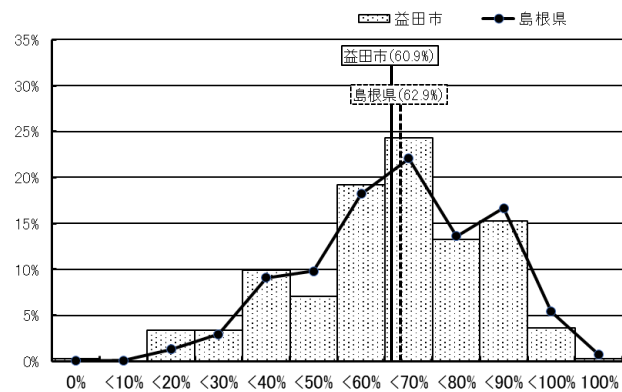
学年	項 目	R6			
		益田市	島根県	比較 ポイント	
中1	教科総合	44	49	▽	-5
	領域	聞くこと	53	58	▽ -5
		読むこと	46	49	▽ -3
		書くこと	34	40	▽ -6
中2	教科総合	43	44		-1
	領域	聞くこと	46	48	-2
		読むこと	47	48	-1
		書くこと	32	35	▽ -3

(2) 各教科の正答率度数分布（横軸：正答率 縦軸：人数の割合）

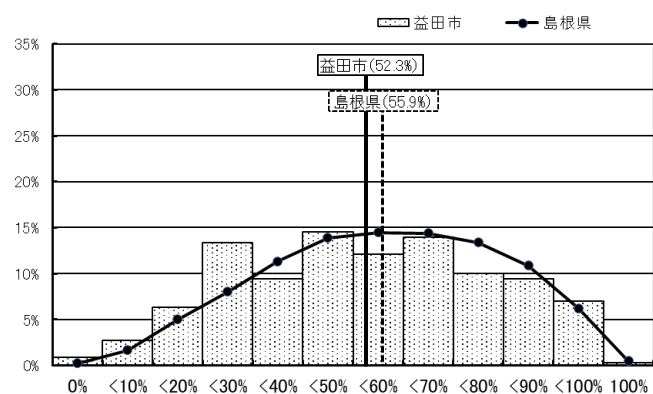
小学5年 国語



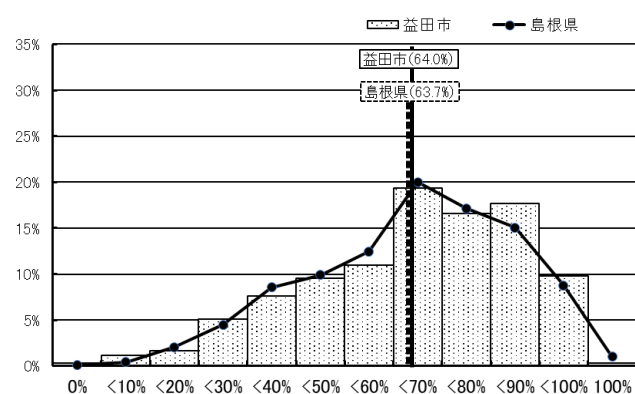
小学6年 国語



小学5年 算数



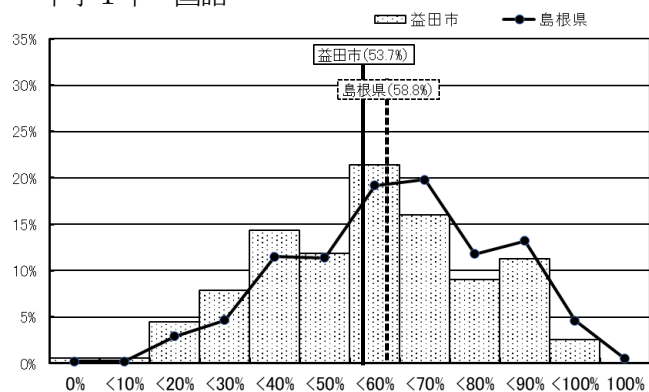
小学6年 算数



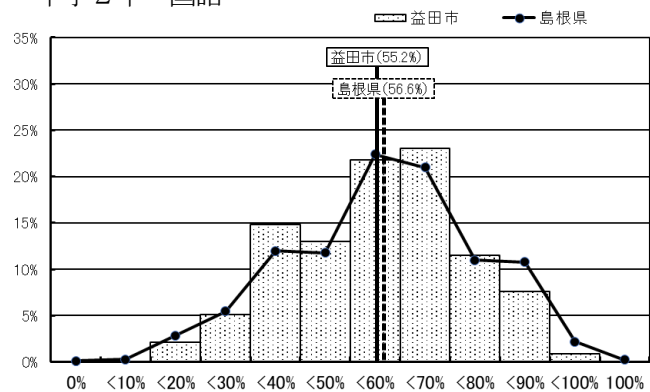
※横軸の数値について

グラフ	範囲 (n)	グラフ	範囲 (n)
0%	$n = 0\%$	$< 60\%$	$50 \leq n < 60\%$
$< 10\%$	$0\% < n < 10\%$	$< 70\%$	$60 \leq n < 70\%$
$< 20\%$	$10\% \leq n < 20\%$	$< 80\%$	$70 \leq n < 80\%$
$< 30\%$	$20\% \leq n < 30\%$	$< 90\%$	$80 \leq n < 90\%$
$< 40\%$	$30\% \leq n < 40\%$	$< 100\%$	$90 \leq n < 100\%$
$< 50\%$	$40\% \leq n < 50\%$	100%	$n = 100\%$

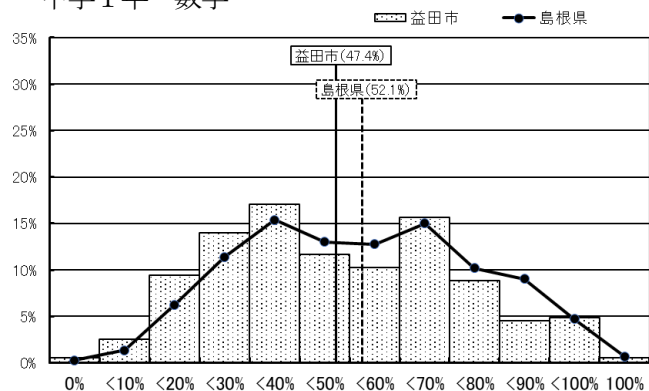
中学1年 国語



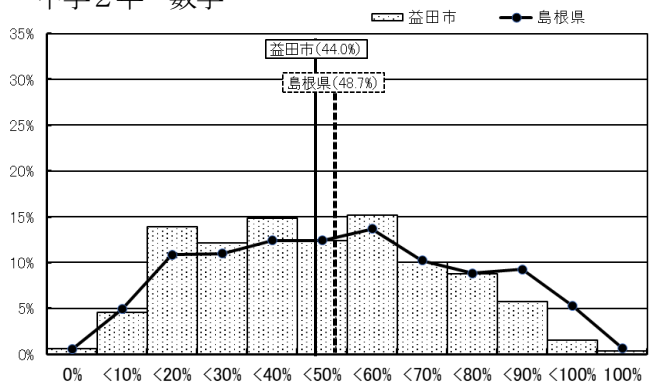
中学2年 国語



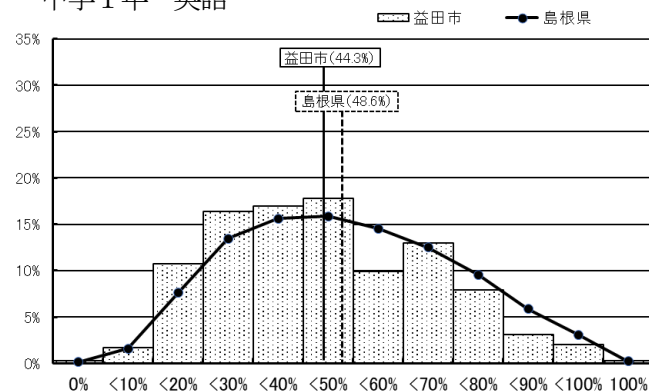
中学1年 数学



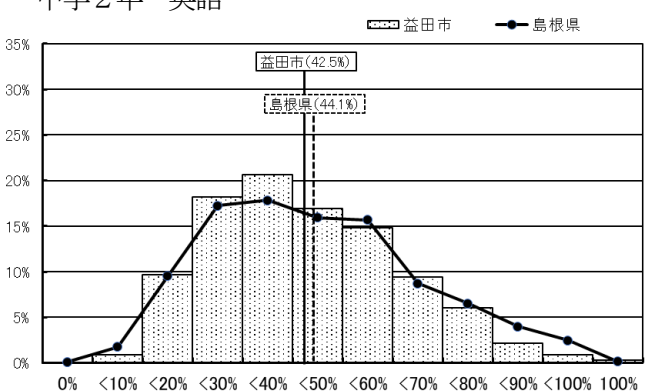
中学2年 数学



中学1年 英語



中学2年 英語

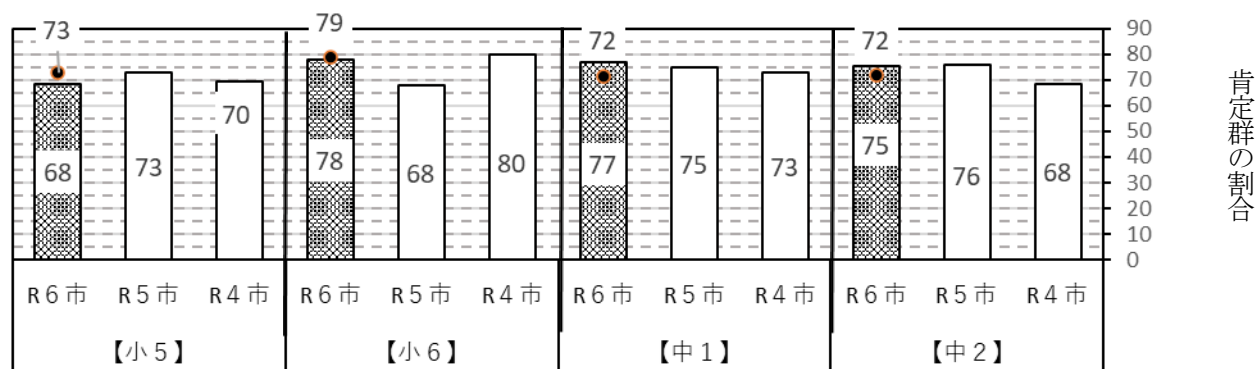


(3) 各教科の設問にみられる成果や課題の概要

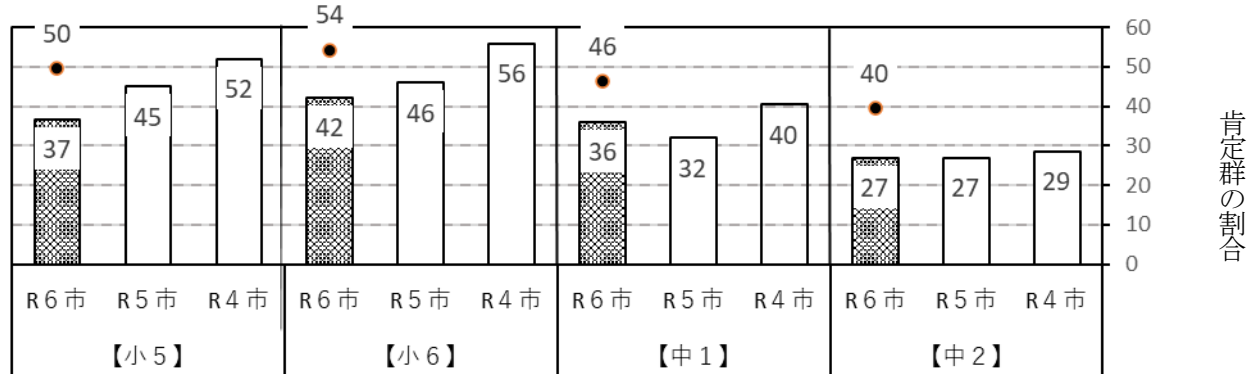
学年	教科	成果 (○) と課題 (▲)
小5	国語	○「漢字の由来（音を表す部分と意味を表す部分との組み合わせ）」「連用修飾語（「来週から」が修飾する言葉）」「指定された長さで文章を書く」「段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書く」は県平均を上回っている。 ▲「第4学年に配当された漢字を正しく書く」「情報と情報との関係を理解し、目的に応じて文章を簡単に書く」「資料から読み取った事実を書く」「自分の意見を明確にして書く」は県平均を下回っている。
	算数	○「立方体の体積を求める」「直方体を組み合わせた形の体積を求める」「三角形の内角の和の理解し、外角の大きさを求める」は県平均を上回っている。 ▲「公倍数を求める」「最大公約数を適用した問題を解く」「小数を分数の形に直す」「分数と小数の大小比較をする」「分数の足し算、引き算をする」「体積の単位の関係（ $1\text{ m}^3 = \text{何cm}^3$ ）を説明する」「比例の関係を理解する」は県平均を下回っている。
小6	国語	○「三字の熟語（短編集一発電機）の成り立ちを理解する」「和語・漢語・外来語を理解する」「文と文との接続の関係を理解する」「説明文の叙述を基に文章の内容を捉える」「文章全体の構成を考える」は県平均を上回っている。 ▲「第5学年に配当された漢字を正しく書く」「原因と結果など情報と情報の関連を理解する」「目的に応じて文章の情報を整理する」は県平均を下回っている。
	算数	○「逆数を理解する」「除法の性質を用いて、分数の除法をしている」「縮図を使って実際の長さを求める」は県平均を上回っている。 ▲「円と四角形を組み合わせた図形の面積を求める」は県平均を下回っている。
中1	国語	○「漢字の部首（そうじょう）を理解する」「指定された長さで文章を書く」は県平均を上回っている。 ▲「話し合いの内容を聞き取る」「小学校で学習した漢字を正しく書く」「文学的な文章の内容を読み取る」「情報と情報との関係について理解し、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する」は県平均を下回っている。
	数学	○「文字式の表し方を理解する」「比例の式から、そのグラフ上にある点を選ぶ」「2直線の位置関係を正しい記号を使って表す」は県平均を上回っている。 ▲「正の数、負の数を理解する」「分数を含む1次方程式を解く」「比例式を解く」「比例の関係について理解する」「平行移動、対称移動させた図形を理解する」「三角形を回転移動した図形を作図する」は県平均を下回っている。
	英語	○「対話文を読み、文構造や文法事項を理解する（疑問視 Which）」「英文を読み、必要な情報を把握し写真を選ぶ」「文の語順を理解し正確に書く（疑問文 Whose）」は県平均を上回っている。 ▲「リスニング」「主語が複数の場合の一般動詞の疑問文を理解する」「3人称単数現在的一般動詞を理解する」「文の語順を理解し正確に書く（否定の命令文、3人称単数の一般動詞の否定文、形容詞＋名詞）」「3文以上の英作文を書く」は県平均を下回っている。
中2	国語	○「行書の特徴を理解する」「故事成語（大器晩成）について理解する」「自分の考えが伝わる文章になるように工夫する」「情報と情報との関係について理解し、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する」「指定された長さ、2段落構成、自分の考えを明確にして文章を書く」は県平均を上回っている。 ▲「小学校で学習した漢字を正しく書く」「文章全体と部分との関係注意しながら内容を捉える」は県平均を下回る。
	数学	○「錯角の関係を理解する」「補助線を引いて、平行線と錯角の関係をを利用して角の大きさを求める」「三角形の内角、外角の性質について理解し、核の大きさを求める」「三角形の合同条件を判断する」は県平

		均を上回っている。 ▲「多項式の同類項をまとめて計算する」「単項式の乗法、除法が混じった式の計算をする」「分数を含む多項式を計算する」「連立方程式を解く」「1次関数を理解する」「囲んだ数の和が5の倍数であることの説明を書く」「文字式を使った式から、どのような形で囲んだのかを表現する」は県平均を下回っている。
	英語	○「絵を適切に表す英文を聞き、その内容を理解する」「対話文を読み、文構造や文法事項を理解する(There is/are の疑問文、形容詞的用法の不定詞)」「英文を読み、必要な情報を把握し、適切な時刻を判断する」「対話を読み、対話の流れと資料から、適切な内容を選ぶ」「対話を読み、対話の流れと資料から、文脈に応じた語句を判断する」は県平均を上回っている。 ▲「対話を聞き、対話の概要を捉えて、適切に応答する」「対話文を読み、文構造や文法事項を理解する(助動詞 must の否定文)」「スピーチを読み、要点を把握する」「文の語順を理解し、正確に書く(SV00の文、動名詞の文)」は県平均を下回っている。

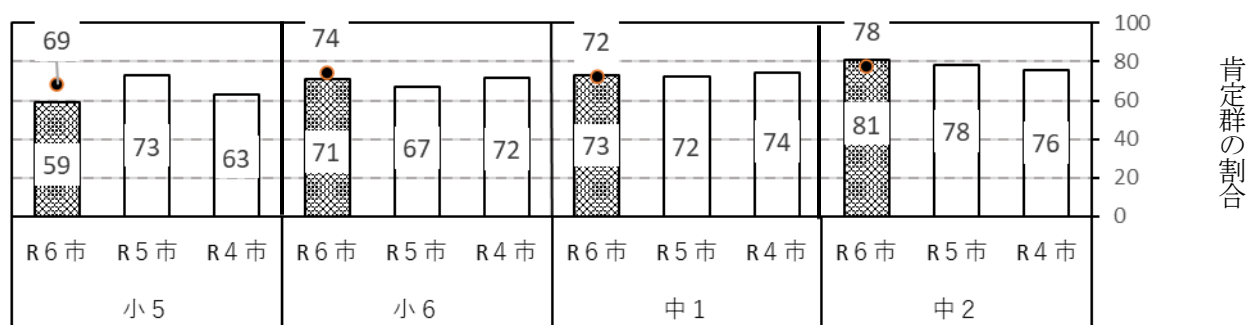
①自分は先生から認められていると思う



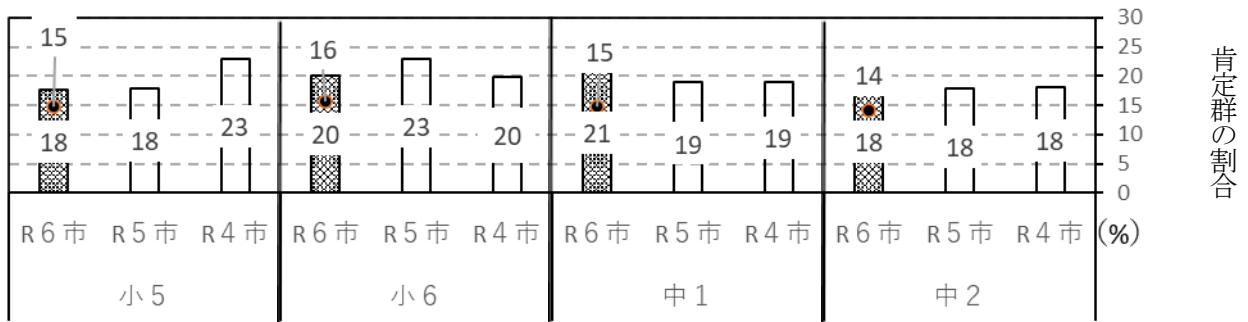
②平日の家庭学習時間1時間以上



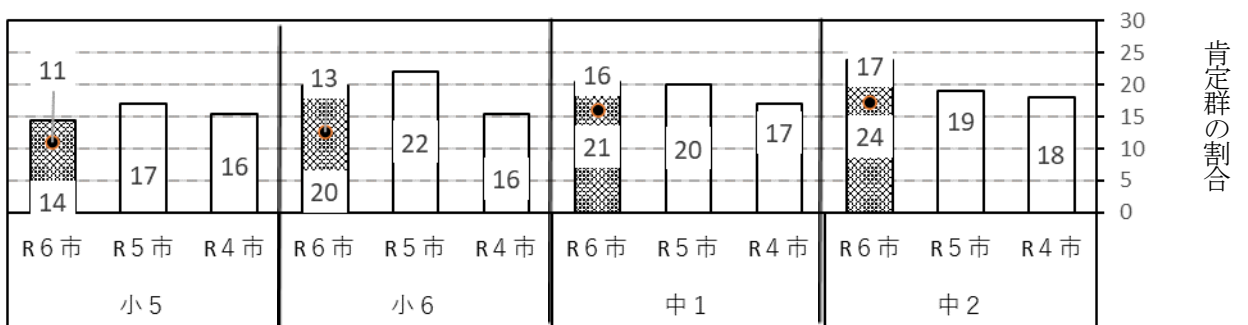
③学級の友だちとの間で話し合う活動を通して自分の考えを 深めたり、広げたりすることができていると思う。



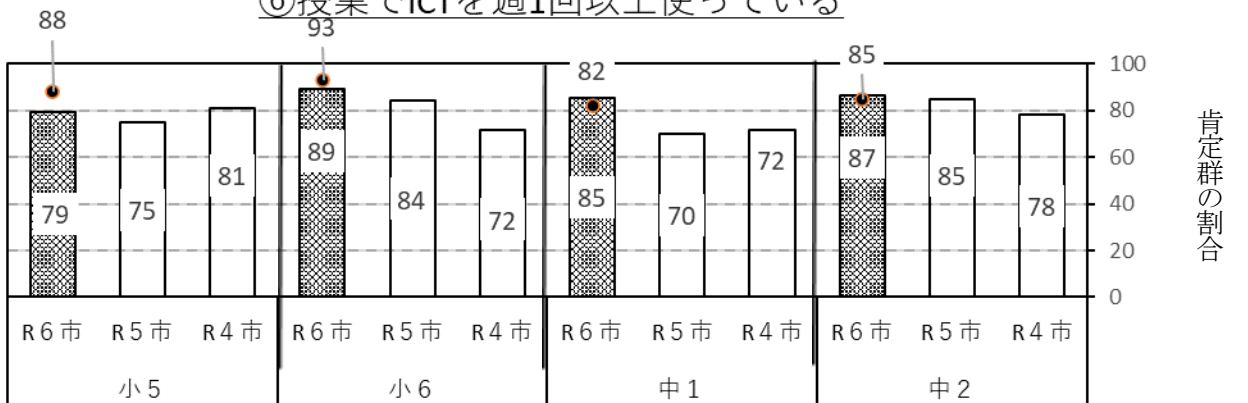
④普段（平日）テレビゲーム（携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）のプレイ時間4時間以上



⑤普段（平日）の携帯電話やスマートフォンを使っのSNSや動画視聴の時間が4時間以上（学習使用を除く）



⑥授業でICTを週1回以上使っている



⑦図書館の資料を使った授業は役立っている

